

事務事業名	「菅谷たたら山内」保存修理事業		所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
政策名	総合計画体系	(IV) ふるさを愛し豊かな心を育む教育と文化のまちづくり《教育・文化》	所属G	文化財文化振興G	課長名	白神大三
施策名		(29) 地域文化の振興	担当者名	白神大三	電話番号(内線)	0854-40-1300
基本事業名	(088) 指定文化財の保護・保存	予算科目	会計	款	項	目
			01	510	215	315018

1 現状把握の部

(1) 事業概要

① 事業期間	② 事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③ 開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(22年度~28年度)	重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」は国内で唯一現存する山内であり、その建造物の修復元を行い、自然環境や周辺の景観と調和のとれた文化財として保存継承を進め、雲南市のたたら製鉄の歴史文化を全国に情報発信する。	高殿、元小屋の老朽化、損傷が著しく、平成21年9月、田部家から「菅谷たたら山内」の寄附を受けたことが本格的な保存修理事業開始のきっかけとなった。

(2) トータルコスト

		単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
① 事業費の内訳(概要)	事業費	国庫支出金	千円			37,000	86,330	267,332
		県支出金	千円			12,333	28,777	89,111
		地方債	千円			24,600	57,553	178,221
		その他	千円					
		一般財源	千円			13,482	908	841
	事業費計(A)	千円	0	0	13,482	74,841	173,501	552,351
② 延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	人件費	正規職員従事人数	人			2		
		延べ業務時間	時間			50		
		人件費計(B)	千円	0	0	197	0	0
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	0	13,679	74,841	173,501	

(3) 事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

手段	① 主な活動	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	23年度実績(23年度に行った主な活動)	⑤ 活動指標							
	① 実施設計委託業務	ア 委託契約件数	件			1	0	0	
		イ 工事請負契約件数	件			0	1	0	
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	ウ 検討委員会	回			0	3	3	
	① 保存修理工事請負契約業務								
	② 検討委員会開催業務								

目的	② 対象(誰、何を対象にしているのか)	指標名	単位	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	最終
				(実績)	(実績)	(実績)	(目標)	(目標)	(目標)
	菅谷たたら山内	⑥ 対象指標							
		ア 施行対象建物	棟			-	2	3	4
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	⑦ 成果指標							
	菅谷たたら山内の施設が保存修理される	ア 基本設計業務進捗率	%			100			
		イ 保存修理進捗率	%				20	40	100
	④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	⑧ 上位成果指標							
	地域の伝統文化や歴史遺産に関心を持ち、郷土への誇りと愛着の心を培うとともに、次世代に伝えていく。	ア 保護・保存されている指定文化財の数	件	86	86	86			
		イ	%	100	100	100			

(4) 事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
古事記編纂1300年事業や鉄の歴史村地域振興事業団による事業により菅谷たたら山内に対する関心は高まりつつある。	特になし	建造物の修復復元、自然や景観と調和のとれた保存整備により文化財価値が高まる期待と見学者や交流人口の増加を図り、地域の活性化につながる活用が期待されている。

事務事業名	「菅谷たたら山内」保存修理事業	所属部	教育委員会	所属課	社会教育課
-------	-----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↷ 文化財を活かしたまちづくりを進めていく上で重要な事業であるとともに、国内で唯一現存する山内である重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」を保護・活用するための主要事業である。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↷ 重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」は国内で唯一現存する山内である。その建造物の修理復元を行うことで、雲南市のたたら製鉄の歴史文化を全国に情報発信に繋げる。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↷ 特定の民俗文化財が対象であり、対象を追加する余地はない。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↷ 今年度は保存修理及び活用計画の策定が目的のため
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↷ 重要有形民俗文化財「菅谷たたら山内」の施設維持ができなくなり、全国的にも貴重な文化遺産が失われる。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↷ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↷ 特定の民俗文化財が対象であり、対統廃合・連携はできない。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 現時点での保存修理事業は国指定史跡に関わる周辺整備のための必要最低限のものであるとすれば、事業費の削減は困難である。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↷ 保存修理事業そのものは工事請負である(職員が関わる部分は少ない)。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↷ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↷ 国民共有の財産の保護・保存のためのものである。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	22年度繰越となっていた実施設計が完成した。これにより、24年度からの保存修理事業の発注が可能となった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持		●	×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 特になし																							